

JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

7. Mitumeスラムの公立小学校4校の雨水貯留タンクの設置 (ケニア)

- 実施団体: Elite Community Development Empowerment Programme (ECODEP) (#180)
- 費用: 1,639.3ドル (JWFファンド975ドル、団体310.3ドル、受益者354ドル)
- 受益者数: 3,457人
- 実施地の水問題:
対象地域の学校の多くは給水設備、トイレや手洗い場がない、または不十分である。学校では汚れた水を使っているため、下痢症などの病気が発生している。学校への政府からの資金は十分でなく、毎年増える生徒数に対して十分な設備を拡充できていない。また、子どもたちはトイレの後に手を洗う習慣がない。



対象となった学校の校舎



既存トイレには手洗い場がない

- 主な活動内容: 小学校4校へ雨水貯留タンク各1基設置、集水設備の設置と手洗い設備の設置、各学校教員への衛生と病気に関するトレーニング4回、生徒への衛生に関する授業
- 持続性: 設置した雨水貯留タンクの維持管理は各学校が実施する。

これらの活動により、給水環境が改善され、学校環境の向上が期待される。

JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

7. Mitumeスラムの公立小学校4校の雨水貯留タンクの設置 (ケニア)

実施中の様子



雨水貯留タンク設置の
基礎建設



雨水貯留タンクと
手洗い器の配管接続

現場からの声 (一部抜粋)



Melsa Mutambaさん
(49歳、学校の校長)

COVID-19が発生して学校が再開した時、手洗いの状況に困っていたので、ECODEPが雨水貯留タンクの設置を提案してくれてとても嬉しかったです。ECODEPが実施した衛生に関するトレーニングのおかげで、腹痛や下痢になる生徒が大幅に減り、欠席率を最小限に抑えられることを確信しています。

実施後の様子



完成した雨水貯留タンクと
児童たち



手を洗う児童たち



Edwin Cheruiyotさん
(12歳、学校の児童)

以前は毎日家から小さなボトルで水を運んでいましたが、今は学校で手を洗ったり水を飲むことが出来て嬉しいです。先生とECODEPは、COVID-19の感染拡大を防ぐための手洗いの重要性と石鹼を使った手洗いの方法を教えてくださいました。ECODEPとJWFに感謝します。